

## 第1部 平成22年度の実施状況及び点検結果

平成22年度は、合計で76の啓発事業を実施しました。

このうち、当初計画どおり実施した事業が74事業、当初計画に達しなかった事業が2事業ありました。

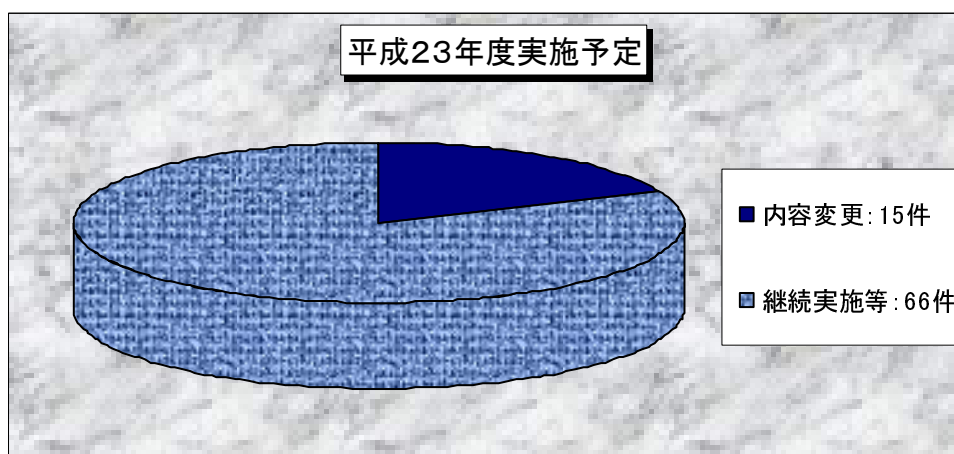
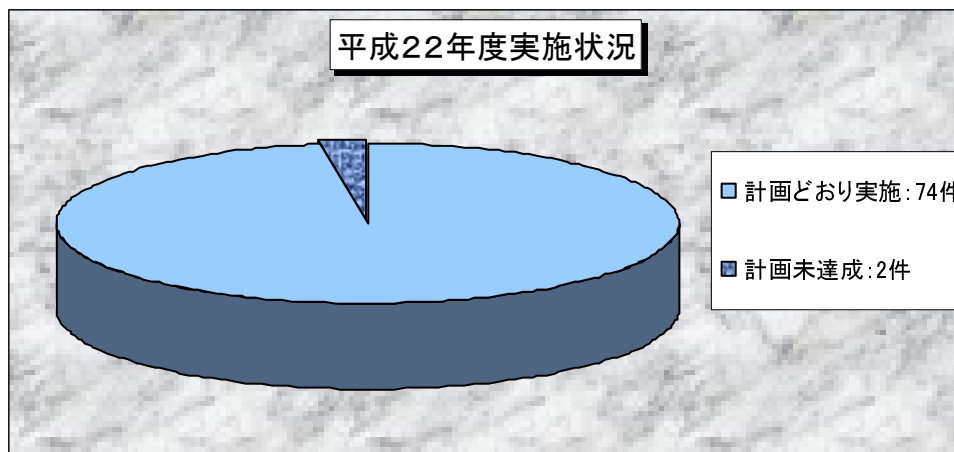
なお、平成22年度をもって終了した事業が2事業ありました。

また、平成23年度は、81事業を実施することとしており、このうち15事業については、平成22年度の事業実施状況を踏まえ、その事業内容の改善等を図る予定です。

### 【事業実施件数等 平成22／23年度比較】

人権啓発に関する施策	22年度 事業実施 件数	増 事業 件数	減 事業 件数	23年度 事業実施 件数	内容の改善 等を図る 事業件数
各人権課題に対する取組（計）	（53）	—	—	（58）	（13）
女性	9	1	—	10	4
子ども	2	2	—	4	1
高齢者	12	3	1	14	4
障害者	12	—	—	12	3
同和問題	4	—	—	4	—
アイヌの人々	1	—	—	1	—
外国人	3	—	—	3	1
HIV感染者及びハンセン病患者・回復者	2	—	—	2	—
刑を終えて出所した人	1	—	—	1	—
犯罪被害者等	2	—	—	2	—
インターネットによる人権侵害	3	1	1	3	—
その他	2	—	—	2	—
人権にかかわりの深い特定の職業に従事するものに対する研修等	10	—	—	10	—
総合的かつ効果的な人権啓発の推進	13	—	—	13	2
合 計	76	7	2	81	15

## 【平成22年度事業実施状況と23年度実施予定】



### 1 人権一般の普遍的な視点からの取組

「人権に関する基本的な知識の習得」、「生命の尊さ」及び「個性の尊重」の視点から、県民参加型の啓発活動や啓発担当者の育成、マスメディアの活用など、国、市町などと連携・協力して各種の啓発事業を実施しました。

## 2 各人権課題に対する取組（53事業）

各人権課題に対する取組として、平成22年度は計53事業を実施しました。このうち当初計画どおり実施した事業が51事業、当初計画に達しなかった事業が2事業ありました。

また、平成22年度をもって終了した事業は2事業です。

なお、平成23年度は、58事業を実施することとしており、このうち13事業については、その事業内容の改善等を図る予定です。

### (1) 女性（9事業）

平成22年度に実施した女性に係る事業は9事業で、全て当初計画どおり実施しました。

このうち4事業について、平成23年度において、次のとおり実施方法等の改善等を図る予定です。

事業名	担当部局	平成23年度の改善等
男女がともに働きやすい職場環境づくり事業	商工労働局	セミナーの開催について、開催回数等を見直すとともに、より効果的な時期に開催する。
暴力被害者相談・支援体制整備事業	健康福祉局	民間活動団体との連携を強化し、DV被害者の保護体制の強化や支援を行う。
ワンストップ雇用労働情報提供システム	商工労働局	22年度に行ったデザイン・機能のリニューアルをベースに、より使いやすい画面と、より適切な情報の提供に努める。
仕事と子育て応援事業	商工労働局	キャンペーンの広報方法を見直し、より効果的な広報媒体を取捨選択の上、効果的な広報を展開する。

### (2) 子ども（2事業）

平成22年度に実施した子どもに係る事業は2事業で、全て当初計画どおり実施しました。

このうち1事業について、平成23年度において、次のとおり実施方法等の改善等を図る予定です。

事業名	担当部局	平成23年度の改善等
児童虐待防止対策事業	健康福祉局	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童虐待の早期発見・早期対応等の取組を強化するとともに、子育て家庭に対する相談機関や支援施策の周知及び社会的養護の一環としての里親制度の必要性和普及について、広報啓発事業の実施により、県民への周知を図る。</li> <li>平成22年8月に福山市で発生した児童虐待死亡事案の検証結果を踏まえ、児童虐待防止支援員の配置やテレビ電話会議システムによる早期虐待診断のしくみづくりを行う児童虐待防止特別強化事業を別途実施する。</li> </ul>

### (3) 高齢者（12事業）

平成22年度に実施した高齢者に係る事業は12事業で、全て当初計画どおり実施しました。

このうち、4事業について、平成23年度において、次のとおり実施方法等の改善等を図る予定です。

事業名	担当部局	平成23年度の改善等
地域包括支援センター職員研修事業	健康福祉局	地域包括支援センターが抱える個々の課題に対応できるよう現地での研修を実施する。
プラチナ世代社会参画促進事業		広島県全域で、当該事業の認知度向上とプラチナ世代の社会参画の重要性について、広報・普及啓発活動をする必要がある。平成23年度は、広島県全域での広報・普及啓発活動を徹底するため、県内各地のイベントに参加して、プラチナ世代の社会参画について呼びかけを行う。
認知症にやさしい地域づくり支援事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の医療と介護の連携体制について、具体的な方策を示す必要がある。</li> <li>県民が認知症について正しく理解し、適切な対応ができるよう、効果的な普及啓発に取り組む必要がある。</li> </ul>
ワンストップ雇用労働情報提供システム	商工労働局	22年度に行ったデザイン・機能のリニューアルをベースに、より使いやすい画面と、より適切な情報の提供に努める。

### (4) 障害者（12事業）

平成22年度に実施した障害者に係る事業は12事業で、このうち当初計画どおり実施した事業が10事業、残る2事業は当初計画に達しませんでした。

このうち、3事業について、平成23年度において、次のとおり実施方法等の改善等を図る予定です。

事業名	担当部局	平成23年度の改善等
障害者雇用拡大事業	商工労働局	制度の効果的な活用を図るため、引き続き、関係機関との連携により、制度の周知に努めるとともに、養成研修等で新規の派遣型ジョブサポーターを養成し、活動が可能な体制とする。
障害者在宅ワーク支援研修事業	商工労働局	研修事業委託訓練先の民間教育機関等に対し、研修訓練生に対する面接指導を積極的に実施し、適宜訓練生の訓練習得状況を把握するよう指導するなど、委託先機関との連携を図り、訓練生の中途退校を回避する。

事業名	担当部局	平成23年度の改善等
ワンストップ雇用労働情報提供システム	商工労働局	22年度に行ったデザイン・機能のリニューアルをベースに、より使いやすい画面と、より適切な情報の提供に努める。

#### (5) 同和問題（4事業）

平成22年度に実施した同和問題に係る事業は4事業で、全て当初計画どおり実施しました。

#### (6) アイヌの人々（1事業）

平成22年度に実施したアイヌの人々に係る事業は1事業で、当初計画どおり実施しました。

#### (7) 外国人（3事業）

平成22年度に実施した外国人に係る事業は3事業で、全て当初計画どおり実施しました。このうち1事業について、平成23年度において、次のとおり実施方法等の改善等を図る予定です。

事業名	担当部局	平成23年度の改善等
ワンストップ雇用労働情報提供システム	商工労働局	22年度に行ったデザイン・機能のリニューアルをベースに、より使いやすい画面と、より適切な情報の提供に努める。

#### (8) HIV感染者及びハンセン病患者・回復者等（2事業）

平成22年度に実施したHIV感染者及びハンセン病患者・回復者等に係る事業は2事業で、全て当初計画どおり実施しました。

#### (9) 刑を終えて出所した人（1事業）

平成22年度に実施した刑を終えて出所した人に係る事業は1事業で、当初計画どおり実施しました。

#### (10) 犯罪被害者等（2事業）

平成22年度に実施した犯罪被害者等に係る事業は2事業で、全て当初計画どおり実施しました。

### (11) インターネットによる人権侵害（3事業）

平成22年度に実施したインターネットによる人権侵害に係る事業は3事業で、全て当初計画どおり実施しました。

### (12) その他（2事業）

平成22年度に実施したその他の事業は2事業で、当初計画どおり実施しました。

※ その他の事業 ～「ユニバーサルデザイン推進事業」

「拉致問題等北朝鮮による人権侵害問題の啓発」

## 3 人権にかかわりの深い特定の職業に従事する者に対する研修等（10事業）

平成22年度に実施した人権にかかわりの深い特定の職業に従事する者に対する研修等は10事業で、全て当初計画どおり実施しました。

## 4 総合的かつ効果的な人権啓発の推進（13事業）

平成22年度に実施した総合的かつ効果的な人権啓発の推進に係る事業は13事業で、全て当初計画どおり実施しました。

このうち2事業について、平成23年度において、次のとおり実施方法等の改善等を図る予定です。

事業名	担当部局	平成23年度の改善等
人権啓発講演会の実施等	環境県民局	講演会をはじめとする啓発イベントが、さらに県民参加型のものとなるよう、開催内容を充実させる。
人権啓発指導者養成研修会の実施		研修会の内容をより参加型になるよう工夫する。